

# まちの話題

## 西原高校女子バレー部が 県高校総体で優勝!!

「平成21年度沖縄県高等学校総合体育大会（インターハイ）」（5月29日～6月2日開催）で、西原高校女子バレー部（平良久美子監督）が優勝しました。同部は、6月に宮古島市で開催された九州大会でも3位と善戦しており、6月22日、町役場を訪れた桃原早紀キャプテンは「一勝していくごとに自信がついた。8月の全国大会で、全国制覇を目指します」と決意を語りました。



## 西原東クラブがバレー県大会で優勝!

西原東クラブ（呉屋博之監督）は6月29日、町役場を訪れ、「第29回全日本バレーボール小学生大会沖縄県大会」（6月20～21日・うるま市）での優勝報告を行いました。上間町長は「全国大会も期待している」と激励。仲本賢優キャプテンは「みんなで声をかけあい、練習をしっかりこなして、全国大会でも優勝できるようにがんばりたい」と意気込みを示しました。



## サンウエストトーナメント 軟式野球大会を開催

野球で交流し、地域を盛り上げていこうと「西原町サンウエストトーナメント軟式野球大会」が7月12日、西原マリパーク野球場で開かれました。地域や町内企業など8チームが参加し、west fieldが優勝。なお、この大会の運営費が残ったため、後輩の健全育成やスポーツ派遣に役立ててほしいと寄付を計画。7月17日、西原小学校にて、同大会実行委員代表の與那原良仙さんが、西原パuffersに5万円を寄付しました。



## 西原高マーチングバンド部が 世界音楽コンクールへ出場決定!!

西原高校マーチングバンド部（比嘉一史顧問）が、7月30日からオランダで開催される「第16回世界音楽コンクール」に出場が決まりました。音楽のオリンピックと呼ばれる4年に一度のこの大会で、前回、同部は世界一に輝いています。去年開催された日本マーチングバンド・パトントワーリング国際大会での実績が評価され、日本代表として出場することになりました。6月22日、町役場を訪れた島袋竜部長は「世界大会に向けて部員一丸となって練習しています。日本、沖縄の音楽を取り入れ、世界中の人が感動するような演技と演奏を届けたい」と抱負を述べました。7月16日には、宜野湾市でチャリティコンサートを開き、高い演技・演奏力を披露しました。



## 新川千代子さんがペルー町人会へ着物を寄贈

6月26日、新川千代子さん（字内間）が町役場を訪れ、西原町歌のレコードや琉舞の着物20枚等をペルー町人会へ寄贈しました。着物は涼しい綿素材で、背の高い方用に仕立てた丈が長いのも用意。上間町長が7月のペルー町人会90周年記念式典に出席するため、着物等を上間町長に託しました。新川さんは「移民で今まで苦労してこられた方々に、感謝の気持ちをこめて贈りたい。90周年を迎え、新たな気持ちで頑張りたい」と話し、上間町長は「ペルーの皆さんに現地でも琉舞が盛んになるよう、また郷里の西原に心を留めていただけるよう、しっかりお渡したい」と話していました。



## 禁煙にチャレンジしてみよう!

「やめたくてもやめられない」「あの人にやめてほしい」という声に応えようと、禁煙講演会『楽しく楽に禁煙チャレンジ!』が6月12日、町中央公民館で開催されました。医師の永吉奈央子さん（徳山クリニック）は、禁煙にチャレンジすることを旅に例え、「何度でもチャレンジすることが大事」と訴えました。薬剤師の我喜屋美香さん（がじまる薬局）は、薬局で実際に行っている禁煙支援の実演を行い、参加者は真剣な眼差しを向けていました。講演後のアンケートでは、喫煙者の8割の方が禁煙にチャレンジしてみたいという結果が出ました。



永吉奈央子さん



我喜屋美香さん

## 黒船来航の石碑を建立

1853年5月にペリーが黒船4隻で来航し、小橋川に立ち寄ったことを記す石碑を小那覇義光さん（字小橋川）が6月2日、小橋川の戦没者慰霊塔隣の広場に建立しました。小那覇さんは16年前、この地の歴史を知り、後世に伝えたいと考え、約15年間かけて古紙などの換金で140万円を貯め、大理石の石碑を区へ贈呈。石碑にはペリーの探検隊が調査で訪れ、この地で野営した様子を記したスケッチが刻まれています。小那覇さんは「歴史から学ぶことはたくさんある。子ども達に直にふれる教材になれば」といい、大城正康自治会長は「西原の新名所になってくれれば嬉しい」と話していました。



写真右から小那覇義光さん、大城正康自治会長

## 小波津有希君の墨絵展開催が決定

先天性ダウン症で字も書けず、話すこともできない小波津有希君（島尻特別支援学校中学部2年・字小波津）が書いた墨絵と絵ハガキが6月12日、上間町長へ贈られました。これは、来年の7月にパレットくもじ美術サロンで、有希君の個展を開くことが決定した記念にと、母の智恵美さんが贈呈。審査が厳しいといわれるこのサロンで個展を開くことは、有希君が13歳ながら、画家として認められたといえます。今年の8月にはパレットミニギャラリーで、有希君の墨絵と姉・絵美さんの詩を展示する二人展が開催されます。



## シルバー人材センターの 会員が西原の塔を清掃

6月13日、(社)西原町シルバー人材センターの会員・役員約60名が、西原の塔を清掃しました。これは奉仕活動の一環として、毎年、慰霊の日の前に行っているもので、作業前に慰霊碑に黙とうをささげ、約1時間半で、塔周辺の除草など清掃活動を行いました。



## 犯罪や非行のない 明るい社会を築こう

犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更正について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうと「社会を明るくする運動」のメッセージ伝達式が6月29日、町役場で行われました。保護司会西原支部を代表して、與那嶺絹子さんが「世界一安全な国、日本を復活するために、住んでいる人たちの積極的な参加が不可欠」との森法務大臣のメッセージを代読し、上間町長に手渡しました。

